

かみふじの 議会だより

第 94 号

2017 年 4 月 25 日発行

発行 上富良野町議会



Contents

- 2 P 第1回定例会 新年度予算ほか
- 6 P 予算特別委員会 29年度予算を徹底審査！
- 8 P 一般質問 2名の議員が町政を問う。
- 14 P ☆ぴか☆つと輝くまちのひと

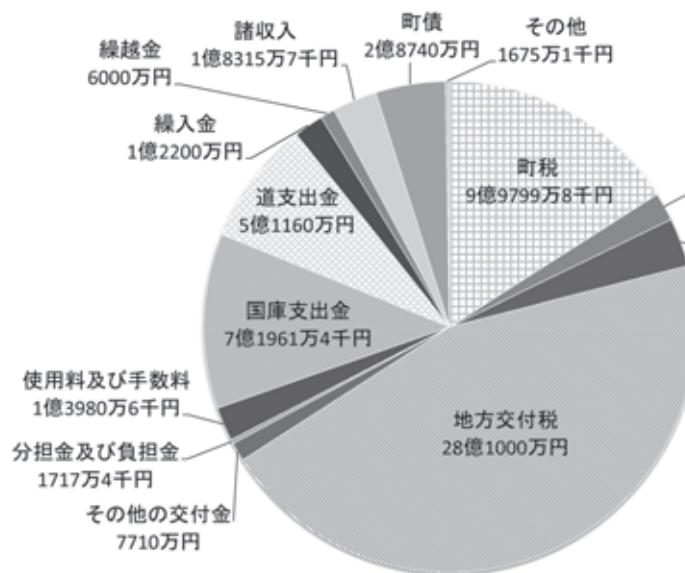
認定こども園上富良野高田幼稚園 入園式

寄附制度始まる!!

3月定例会は7日から27日までの21日間の会期で開催しました。一般質問では、2人の議員が災害時におけるボランティアセンターの開設や農業振興実践プランを取り上げ、活発な議論を展開しました。平成29年度の予算審議は、予算特別委員会を設置し、「地域経済の活性化が図られ、町民が安心して暮らせる」予算が確保されているか活発な審議がされ、賛成多数で可決されました。

町税は、農業所得、事業所得の減が見込まれる一方、給与所得の増による個人住民税の増、固定資産税は、新築家屋の増を見込み前年度対比増、地方交付税及び臨時対策債は、国の財政計画に基づき計上しました。

特別交付税は、証明書のコンビニ交付整備事業を考慮し、「かみふらの120年」を記念した各種事業及び昨年発生した大雨災害による復旧等の対応を図るために、財政調整基金からの繰入れを行いました。

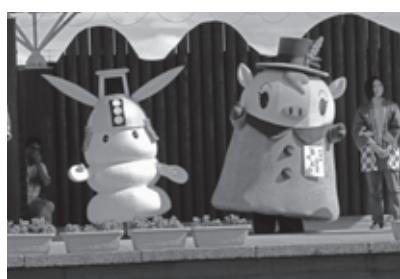


「すみずみまで光があたるまちづくり」
を実現するための予算

平成29年度に三重県津市との友好都市提携20周年を迎えることから、両市町の絆を再確認するとともに交流の輪を広げ深めるため、上富良野町国内交流実行員会とともに記念する事業です。

津市との訪問交流などの実施

281万4千円



町の産業振興と地場
産品の全国へのPR、地
域活性化を目的とし、現
在のラベンダーの里か
みふらのふるさと応援

寄附制度を活用し、町外
からの寄附者に対し町
の特産品やサービスな
どのモニター品を送り、
アンケートなど調査を
行う事業です。



※モニター商品は現在募集中です。

町外からの寄附者へモニター品の送付
903万8千円

新しい事業は
どんな事業
?

ふるさと応援モニター

歳出

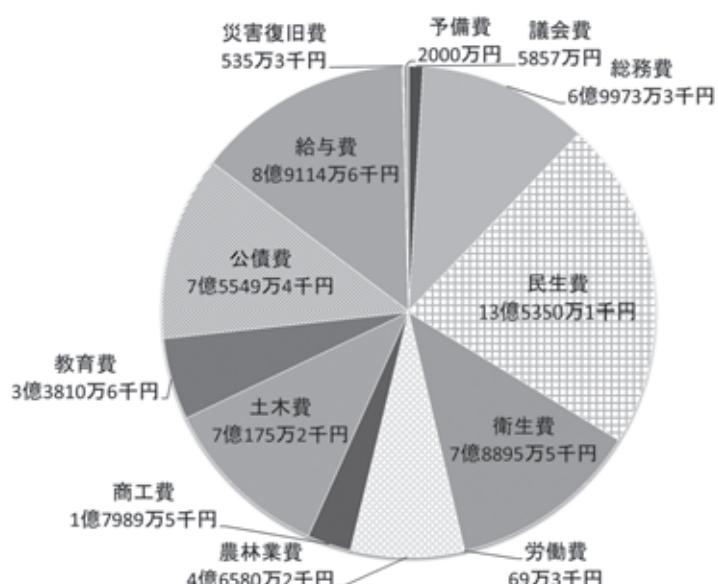
権配分方式による予算編成を行いました。

人件費は、新たにアグリパートナー推進員の配置、外国語教育の推進のための英語指導助手の配置、退職者再任用による増、義務的経費の扶助費は、低所得高齢者向け年金生活者等支援臨時福祉給付金事業の完了等により減、投資的事業は、上富良野中学校改修、日の出公園巡回路整備等の完了で減となりました。

また、健康維持推進経費、地域活性化を応援する経費を確保し、公共施設・公共インフラの長寿命化対策に要する経費、「かみふらの120年記念」事業に要する経費を計上しました。

■平成29年度各会計別予算額■

会計名	29年度予算	前年比
一般会計	62億5900万円	▲12.2%
特別会計	国民健康保険	14億7458万9千円
	後期高齢者医療	1億3706万3千円
	介護保険	9億2295万5千円
	ラベンダーハイツ事業	2億7587万3千円
	簡易水道事業	6431万8千円
	公共下水道事業	4億3061万8千円
企業会計	水道事業 収益の支出	1億7230万2千円
	水道事業 資本の支出	1億2732万9千円
	病院事業 収益の支出	9億729万円
	病院事業 資本の支出	2858万3千円
合計	107億9992万円	▲7.9%



草分地区に開拓の鍬が下されてから120年の節目を迎えるにあたり、記念する事業や既存事業の連携を強め、かみふらの魅力を発信するとともに、町民の交流を促進する事業です。

子どもセンターは、旧老人身障者センターから機能を移行して以来、施設改修等を行つてきましたが、調理室及びトイレは未改修となつていたため、改修して施設機能を充実します。

子どもセンターの改修 2千405万4千円



図書館から乳児へ絵本の贈呈 26万円

草分地区に開拓の鍬が下されてから120年の節目を迎えるにあたり、記念する事業や既存事業の連携を強め、かみふらの魅力を発信するとともに、町民の交流を促進する事業です。



120年記念関連事業

1千658万円

補正予算

補正予算を可決

質
疑

繰越明許費の追加及び災害復旧費の変更、地方債補正、各事業実施に係る事業費の補正、経営体育成基盤整備事業費、地域振興費寄附金、各事業の確定に伴う補正など、歳入歳出それぞれ1億6千330万2千円を増額し、総額84億9千25万8千円とする補正予算を可決しました。

歳出補正予算の証明書コンビニ交付システム構築事業は、コンビニにより7種類の証明書（①住民票、②住民票記載事項証明書、③印鑑登録証明書、④戸籍証明書、⑤戸籍の附票、⑥所得証明書、⑦課税証明書）の交付をマイナンバーカードを利用することで取得することができ、利便性を高めるための事業です。平成29年11月からサービス開始予定です。予算額は3千250万円となります。



■ 3月補正予算の状況 ■

会計名	補正額	総予算額
一般会計	1億6330万2千円	84億9025万8千円
特別会計	国民健康保険	△7610万5千円
	後期高齢者医療	51万4千円
	介護保険	2542万5千円
	ラベンダーハイツ事業	993万8千円
	簡易水道事業	△181万1千円
	公共下水道事業	△337万1千円
企業会計	水道事業	収益的支出 △627万8千円
		資本的支出 —
	病院事業	収益的支出 107万円
		資本的支出 3725万4千円

※病院事業会計の収益的支出は予算の組み替えのため、補正額は0円です。

各会計の交付金、事業費の確定に伴い、国民健康保険、簡易水道事業、公共下水道事業の各特別会計及び水道事業会計において減額補正を、後期高齢者医療、介護保険、ラベンダーハイツ事業の各特別会計及び病院事業会計において増額補正を行いました。

問 ラベンダーハイツ事業特別会計の公債費部分を一般会計から繰出し、一定の赤字を補てんするが、それでも本年度赤字が生じる見込みである。平成27年度に繰上充用をし、4年計画で年次的に返していく計画が崩れているため、一旦赤字をゼロにしてからスタートすべきではないか。

答 ラベンダーハイツは厳しい経営状況になつており、適正な人員配置等で経営改善を実施し、公債費部分を一般会計から繰入れ、経営の安定化となります。

問 地域センター病院の産婦人科医師の確保のための予算措置であるが、次年度以降の産婦人科医師の確保状況は。

答 地域センター病院である富良野協会病院の経営体制は不透明であり、産科医師の確保も厳しい状況ですが、引き続き、富良野協会病院への支援、センター病院としての北海道への要請を富良野沿線5市町村と連携して進めてまいります。

問 証明書コンビニ交付システムで、本人になりすまして証明書交付を受けるなど、不正に交付されることはないのか。

答 マイナンバーカードを持参し、最寄りのコンビニで証明書の交付を受けられます。マイナンバーカードに係るパスワードは個人に交付されているため、偽造されることはありません。

ラベンダーハイツ条例の 一部を改正

地域包括支援センターの 職員等に係る基準の改正

厚生労働大臣が定める基準の一部改正が平成

28年4月1日に施行され、地域包括支援センターに配置する主任介護支援専門員の定義に、更新研修の終了義務が加えられました。この条例は、交付の日から施行となります。

障がい者の短期入所の指定を受けるため、ラベンダーハイツ条例の一部を改正し、当施設を障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に規定する事業所として設置するものです。

障がい者の短期入所の指定を受けることによる定員・事業・対象者・サービスの利用・利用料及び費用にそれぞれ所要の改正、条文の追加がされ、平成29年4月1日より施行されました。

各単独案件の議案を可決

東1線排水路整備工事（H27国債）請負契約

の工期の変更と、ラベンダーハイツ介護老人用入浴装置を1千166万4千円で購入する議案が可決されました。

第2回臨時会（2月24日開催）

平成28年度一般会計補正予算を可決

公共建築工事の一般管理等率の見直しによる公共建築工事積算基準の改定に伴う泉町南団地（3号棟）整備事業及び上富良野中学校整備事業に係る事業費の補正並びに繰越明許費の変更のため、既決予算総額83億801万5千円に、歳入歳出それぞれ1千894万1千円を追加し、総額を83億2千695万6千円とする一般会計補正予算が可決されました。

税条例等の一部を改正

地方税法及び地方交付税法の一部改正及び地方税法施行令の一部改正が平成28年11月28日にそれぞれ公布されたこと及び固定資産税の納期回数を2期から3期へ増加することにより、各納期あたりの納税額を減じ、納税者に納税しやすい環境を整え、納期内納付の向上を図るため、必要な事項についての改正がされました。

現在、固定資産税の納期回数は5月と9月の2回ですが、条例改正後は5月・7月・9月の3回となります。



ラベンダーハイツで障がい者の短期入所が可能に

叙勲 旭日単光章受章



元町議会議員
(昭和58年～平成7年)
谷本 和一さん (88歳)
西9線北28号

平成29年度予算を徹底審査!



新年度予算は詳細な審議が必要なため、3月定例会で予算特別委員会を設置し、審議するよう付託されました。

議長を除く13名で構成され、村上和子副議長を委員長に4日間開会し、予算に対する質疑や意見書をまとめ、町長に提出しました。

会計ごとに賛成・反対の討論や起立での採決を行い、全ての予算を賛成多数で可決しました。

この審議結果を27日の定例会で報告し、全て原案通り可決しました。4日間で多くの質疑がされ、その一部を紹介します。

新年度予算はどう使われるのか…?

一般会計

一歳出

総合計画

問

第6次総合計画策定に向けたスケジュールでは住民意見聴取とあるが、地域懇談会などの場で行うのか。

答

住民の意見反映のため、アンケートの実施、広聴事業や出前講座、地域懇談会、パブリックコメントを実施する。

有害鳥獣対策

問

有害鳥獣による農作物被害は全町に広がっており、病気感染による影響も懸念される。外来種も含め、対策を講じるべき。

答

平成27年度の農産物被害は3千400万円ほどで、獣友会へ助成し有害鳥獣の捕獲駆除を実施している。

上富良野高校振興対策

問

新たに介護職員初任者研修資格取得補助が実施される。資格取得による就職支援をして地元の雇用促進を図るビジョンは。

資格取得によるキャリア教育で、地元での雇用の場を求めたい。上富良野高校の魅力アップのために、学校とも協議していく。

介護保険特別会計

一歳出

問

介護予防・日常生活支援総合事業に移行すると、緩和型では定められた講習の受講者が携われるが、専門職の配置が必要では。また、サービス単価の設定は従前と、緩和型、従来型では違うのか。

答

緩和型サービスは従来の介護予防サービス事業所に委託し、専門的な介護職員等が対応するため大きな質の低下はない。単価設定は、従前と従来型は変わらず、緩和型Aは国基準に沿った設定を考えている。

ラベンダーハイツ事業特別会計

問

改善計画に基づき運営されているが、歳出削減より歳入増につなげるべきでは。また、公債費部分だけでなく、運営赤字部分にも一般会計からの繰入れをすべきでは。

答

デイサービスの利用者増に向け、介護予防事業の利用者や家族への声かけ、周知やPRを続けていく。経営上の責任を明らかにするために繰上充用をして経営改善を図っていく。今後、経営の改善が困難と判断した場合には、一般会計の負担のあり方を検討していく必要があるかと思うが、今は自助努力を重ねていく。

10項目の審査意見を付しました

一般会計（7項目）

定住・移住

定住・移住に結びつくよう雇用情報の提供を充実させること。

ジオパーク推進

ジオパーク認定に向け、住民協力が得られるよう周知と活動に努めること。
ふるさと応援寄附モニター事業

予約型乗合タクシー

利用者アンケートを実施して現状課題を把握し、利用者の利便性向上に努めること。

健康づくり推進

「健康づくり推進のまち宣言」にふさわしい健康増進を啓蒙すること。

観光振興

十勝岳温泉地区の適切かつ恒久的な水利確保の実現に努めること。

商工業振興

商工業者持続化補助制度を見直し、より多くの商工業者が活用できるよう対応すること。

介護保険特別会計（1項目）

新しい総合事業のスタートに当たり、体制（生活支援コーディネーター、協議体など）を早急に整えること。

ラベンダーハイツ事業特別会計（1項目）

ラベンダーハイツの経営安定のために、特に通所介護サービスの収入確保に努めること。
病院事業会計（1項目）
今後の医療ニーズにこたえるため、町立病院の将来像を早急に示されること。

討論——一般会計——

反対（米沢議員）

地方の景気動向は良い状況になつていいないため、暮らしや福祉を守る予算にすべきです。

移住・定住者に対する具体的な支援や若い世帯に対する持ち家制度の促進、企業と連携した働く場所の確保などが明確でなく、子育て支援では、極めて限定的な子どもへの医療費無料化拡大や保育士不足を補うため無資格な補助職員を配置する予算など、再検討すべきです。また、後期高齢者医療の軽減特例の段階的廃止の中での国保税の引き下げ、ラベンダーハイツ事業特別会計に対する一般会計からの繰入れが必要です。

町民生活を支える予算編成になることを要望し、反対します。

賛成（中澤議員）

国の平成29年度一般会計予算は5年連續過去最大を更新しましたが、地方交付税は前年比、約2.2%減となり、地方自治体にとって厳しい状況にあります。

歳入では多岐にわたる住民ニーズに応えるべく、苦心苦慮した歳入構造になつていています。歳出では、限られた財源の中、コンビニ証明書交付サービスの構築アグリパートナー推進員の配置、ふるさと応援寄附モニター事業、十勝岳ジオパーク構想の認定に向けた活動強化、子ども医療費無料化の拡大、120年記念事業など、長期的観点選択と集中、経常費節減等について努力が見受けられる予算編成となつていると考え、賛成します。

反対（米沢議員）

赤字解消のために、経営のあり方、職員配置、入所者・利用者サービスのあり方の見直し、予算の繰上充用などしてきましたが、できませんでした。赤字の要因として、介護報酬の引き下げ、健康づくりのまち推進により介護認定者数が横ばいで利用人数が伸びないなど社会的要因があり、経営上は良くありませんが、健康増進から見れば喜ばしい状態です。

施設の老朽化など、維持費の増は当然であり、一般会計からの繰入れを全面的に行い、施設運営を維持していくのは当然と考えます。赤字を埋める予算案とはなつておらず、ラベンダーハイツを利用する人がいる限り維持しなければならないため、反対します。

賛成（佐川議員）

平成27年の介護報酬減額改定等を起因とした赤字部分を繰上充用し、4年間の改善計画中ですが、平成28年度は改善幅が小さかつたため、公債費部分の一般会計からの繰入れがあり、平成29年度もこれを見込み、負担の軽減を図っています。3月末には浴室が大規模改修され、利用者の利便性も向上し、障がい者の短期入所を可能にする条例改正で、新たな利用者の掘り起こしとなります。

介護サービスの質の向上を図り、適正な人員配置と効率化を進め、地域に密着した選ばれる高齢者福祉施設の拠点を守り抜くとしており、今後の公設公営の経営努力と町の責任を理解し、賛成します。

——ラベンダーハイツ事業特別会計——

一般会計（7項目）

定住・移住

定住・移住に結びつくよう雇用情報の提供を充実させること。

ジオパーク推進

ジオパーク認定に向け、住民協力が得られるよう周知と活動に努めること。
ふるさと応援寄附モニター事業

予約型乗合タクシー

利用者アンケートを実施して現状課題を把握し、利用者の利便性向上に努めること。

健康づくり推進

「健康づくり推進のまち宣言」にふさわしい健康増進を啓蒙すること。

観光振興

十勝岳温泉地区の適切かつ恒久的な水利確保の実現に努めること。

商工業振興

商工業者持続化補助制度を見直し、より多くの商工業者が活用できるよう対応すること。

介護保険特別会計（1項目）

新しい総合事業のスタートに当たり、体制（生活支援コーディネーター、協議体など）を早急に整えること。

ラベンダーハイツ事業特別会計（1項目）

ラベンダーハイツの経営安定のために、特に通所介護サービスの収入確保に努めること。
病院事業会計（1項目）
今後の医療ニーズにこたえるため、町立病院の将来像を早急に示されること。

一般質問

2名の議員が町長に所信を問う。

一般質問とは、定例会において議員が住民の声や自身の考え方などをもとに町部局に対して行財政全般の考え方や疑問を聞くことです。執行機関に所信を問い合わせ、事実を質すことにより、公正な行政を確保しようとするものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。
詳細は、後日、行政ホームページに掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができますので、ぜひ、議場へお越しください。

ページ	質問議員	質問事項
9	米沢 義英 議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 防災計画及び防災備品について ② 災害時におけるボランティアセンターの開設について ③ 福祉避難施設について ④ 災害時における役場、消防庁舎の機能保全事業について ⑤ 高齢者の運転免許証の自主返納について ⑥ 社会教育総合センターのトイレの改修について
10	高松 克年 議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 第7次農業振興計画における農業・農村振興実践プランについて ② 演習場の管理及び騒音について



施設

—米沢 義英 議員—

社会教育総合センタートイレの改修を実施するよう計画している（教育長）



洋式化の改修が必要なトイレ

米沢議員 社会教育総合センターは、部活動、健康づくりや文化サークルなど多くの人が利用している。高齢者の方からは、和式トイレをすべて洋式トイレとして改修を望む声があるが、今後の対応は。

服部教育長 社会教育総合センターのトイレの現状は、ラウンジ側及びアリーナ側トイレの男女それぞれ1か所と多目的トイレが洋式トイレへ整備されている。

向山町長 運転免許証
自主返納後の対応については、道路交通法の改正に伴い、75歳以上のドライバーを対象に免許更新時の認知機能検査が強化されたことから、免許証の自主返納者が増えることも予想される。

2階のトイレは未整備であつたことから、平成27年度に男女各1か所の洋式化改修を実施した。

利用者が多いときに是、女子トイレが込み合うため、社会教育総合センター内の洋式トイレの設置箇所が利用者に分かりやすいよう案内表示をしており、トイレの洋式化の必要性は強く認識している。

今後実施するよう計画している。

向山町長 運転免許証
自主返納後の対応については、道路交通法の改正に伴い、75歳以上のドライバーを対象に免許更新時の認知機能検査が強化されたことから、免許証の自主返納者が増えることも予想される。



日常生活の維持に必要な自動車

高齢者の運転免証返納者への対応はどうのような支援が必要か 検討したい（町長）

米沢議員 高齢者による自動車事故などが社会問題になつてている。

町の高齢者の中には、時期が来たら運転免許証の自主返納を考えている人や、すでに自主返納した人もいる。運転免許証の自主返納後、買いたい物、通院等の交通手段の確保に不便を感じると話しているが、日常生活維持の対策が必要と考えるが。

町では、交通弱者の移動手段の確保として、予約型乗合タクシー事業を実施しており、通院や買い物などに利用いただいている。

町では、交通弱者の移動手段の確保として、予約型乗合タクシー事業を実施しており、通院や買い物などに利用いただいている。

高齢者などへの対応については、どのような支援が必要か、検討してまいりたい。

一般
質問



環
境

—高松 克年議員—

演習場の土砂流出と騒音の対策は

河川は平成 30 年以降着工予定、

騒音実態を引き続き防衛省に伝える（町長）



被災した演習場内河川の護岸

砂流出対策事業は平成27年までの3年間で復旧工事が完了したが、昨年甚大な被害を受けた。平成29年度に応急工事をし、被災の因果関係を調査し、30年度以降に着工予定である。

高松議員 ベベルイ川
上流の土砂流出対策の
現状と今後の対策をどう
のよう進めるのか。

は溝となる。対策をどのように進めるのか。

向山町長 軽減に農業者自らの沙
砂池、緩衝緑地帯、植生
土のう等による効果が
認められた。今後も助
成、支援を行う。
高松議員 食育、地産地
消による消費者との交
流拡大の施策はどのように
うに行うのか。

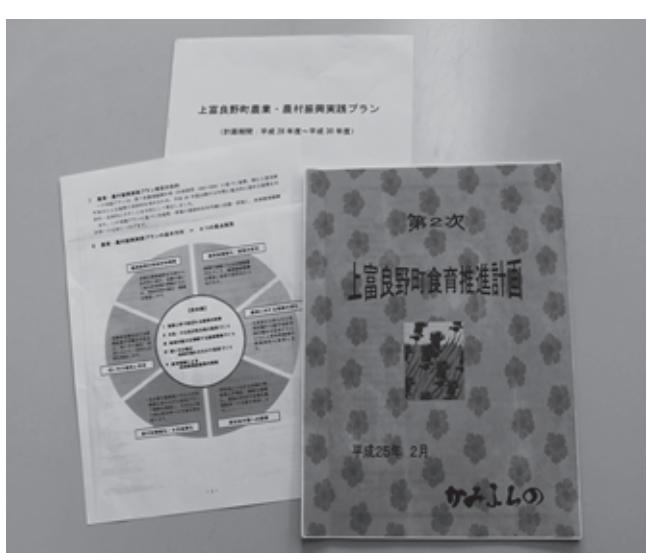
向山町長 食育により、
健康管理、教育活動等が
実施され、まるごと力を

助成を行い、平成28年度は11件であった。随時受付を行い、要望に応えていく。

高松議員 暗渠排水事業の助成をどうのように行うのか。

ふらのビアガーデン、収穫祭等により生産者、消費者の相互理解が進み、

する。担い手育成にもつながる。



農業・農村振興実践プランと食育推進計画

農業

農業・農村振興実践プランの施策実施は

各事業を総合的に実施する
（町長）

高松議員 高収益作物、
特産物生産拡大策は。
向山町長 要望が多く、
今後の収益向上を期待

向山町長 有効な事業と認識しており、早期着手を含め、受益者、関係団体と連携し取り組む。

ふらのビアガーデン、収穫祭等により生産者、消費者の相互理解が進み、

する。担い手育成にもつながる。

委員会のうごき



日東会館での懇談会のようす

議会運営委員会

議会では、広く市民の皆さまと懇談する機会を設けるため、第7回議会懇談会を2月15日（水）に開催しました。日中は日東会館と島津ふれあいセンター、夜間は保健福祉総合センターかみんとセントラルプラザの4か所で開催し、議員12名が参加いただいた30名の市民の方と懇談しました。

町民の皆さまの意見を聞きました

テーマに基づき懇談

町民	十勝岳噴火、災害はいつ起くるかわからぬ。防災ダムなど施設の整備は行われているが、早くにできたダムなどは老朽化が進んでいるのではないか。また、上富良野区域の整備率と美瑛区域の整備率に差があり、上富良野は低い。避難シェルターの整備など、防災施設の早期の整備促進を。ま	た、整備率を定期的に周知してほしい。
議員	美瑛町の河川は国管理であるが、上富良野町の河川は北海道管理であり、道が整備しているため、道の予算づけにより整備されている。町長は、引き続き道へ要請していくとの回答である。	議員と町民での議会懇談会を開催している。今後も、開催方法や内容等を検討し、開催していきたい。



セントラルプラザでの懇談会のようす

懇談会で頂いた意見・要望

意 見

- ・中心市街地活性化や空き店舗対策などで、町の活性化による賑わいを創造するような施策展開を。
- ・災害時の避難所の夜間や休日の開設体制や避難所へ車で避難する方



島津ふれあいセンターでの懇談のようす

- ・対応を明確に。
- ・孤独死を早期に発見できるなど、高齢弱者体制づくり、まちづくりを。
- ・対象者の増加により敬老会の実施が大変であれば、地区を分けて実施しても良いのでは。
- ・旧江幌小学校を利用できなか。

要 望

- ・議会だよりがもつと読まれるために、色刷りをしてはどうか。
- ・議会中継をしてはどうか。



かみんでの懇談のようす

- ・介護認定の低い人がラベンダーハイツに入る内で老老介護のようなことができるのでは。
- ・ふるさと納税をやるべきでは。
- ・ボランティアで設置した吹上露天の湯の看板や浴槽内送湯パイプ、手すりなど、破壊されたり、いたずらが頻繁に起こっている。防犯上からも何らかの対策を講じて欲しい。
- ・住民会に入っていない町内会がある。町も町内会へ住民会に加盟するよう働きかけをお願いする。
- ・防災ダム等施設の早期整備完了に向け、北海道らしい。
- ・要望を強め、早期の防災事業の完了を。
- ・北24号道路（自衛隊東門から旧国道交差点までの駐屯地北側沿いの道路）は、特に秋には交通量が多く危険なため、早期の歩道の設置を。

- ・島津と歴史的な結びつきのある、鹿児島県との交流の際の旅費を町にみてほしい。我々が声を上げなければ若い人に伝わらないが、島津だけではやるのは無理がある。
- ・放射能や体内被曝に関するセミナーを実施したい。

たぐさんのご協力

ございました!

アンケート 調査結果

希望する開催時期

・2月	22人
・11月	2人
・3月	1人
・平日	9人
・休日	8人
・日中	4人
・夜間	5人

議会懇談会の継続

・継続すべき	22人
・止めるべき	0人
・どちらともいえない	4人

0人



◆中富良野町議会議員会との
交流研修会に参加しました。

2月14日に中富良野町で、中富良野町議会議員会との交流研修会が開催され、13名が参加しました。

中富良野町で営農されている北海道指導農業士 九栗 貞子氏から「指導農業士からの情報発信」と題した講演を聴講しました。



議会を傍聴してみませんか？

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開会しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触ることのできる方法です。議会では住民生活にも関わる様々な案件を審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政（町長や教育長）へ質問をする「一般質問」も行われます。

次の定例会開会予定は…

6月20日(火)・21日(水)です!

※この日程は変更になる場合があります
ので、ご確認のうえ、役場3階の議場まで
お越しください。

お気軽にお越し下さい。
たくさんの傍聴をお待ちしております！

お問い合わせ

み~つけた!!

☆ぴか☆と輝くまちのひと

出身は東京都あきる野市。大学卒業後、IT企業へ就職。新宿の本社で1年働き、名古屋支店へ転勤。その時に知り合つたのが、妻でした。その後本社へ戻つた際に結婚。3人の子供が産まれ、長男が1年生になる時に妻の実家のある上富良野へ引っ越してきました。

結婚するまで北海道を訪れたことがなく、上富良野のことも全く知りませんでした。結婚後は来る機会が増え、豊かな自然と見事な景色



上富良野との出会い

出身は東京都あきる野市。大学卒業後、IT企業へ就職。新宿の本社で1年働き、名古屋支店へ転勤。その時に知り合つたのが、妻でした。その後本社へ戻つた際に結婚。3人の子供が産まれ、長男が1年生になる時に妻の実家のある上富良野へ引っ越してきました。

豊かな自然に恵まれた風土が、子育ての環境に素晴らしい、妻の実家の稼業で働きながら生活がしたいと思い、10年間勤めた企業を退職し移住の決意をしました。



東京から移住し、現在は高橋建設株式会社の取締役営業部長である森井一輝さんにお話を伺いました。
ホームページURL
<http://www.takahashi-k.jp>

ゼロからのスタート

全く異なる業界へ転職し、家族や友達は驚きましたが、社長（義父）も会社員からの転職で、共感部分がありました。義父は上富良野出身ですが、私は町に知人はいません、地域の知識もゼロ

なく、地域のスタート。工事現場がわからず迷子になりました。平成26年に富良野青年会議所へ入会。地域の活性化と自己研鑽のため活動をしています。

様々な活動で多くの仲間と出逢い、たくさん刺激を受けました。

■話は変わりますが、伝えることの大切さを感じながらいつも議会広報の編集作業をしているところです。読者の皆さんが、少しでも手にしたくなり、読みたくなるような議会だより発行に向け、平成29年度の予算審議の様子を伝えるための議会広報第94号の編集作業をしているところです。議会だよりに対するご意見、ご要望をお寄せください。

ひとりごと…

■新聞の記事を読んでいると、次の記事が掲載していました。「過去を覚えるものは未

来のために働くものである。広島を覚えるものは平和のために働くものである。」ローマ法王、故ヨハネ・パウロ2世が広島に残した言葉だそうです。核兵器廃絶を願い、平和な世の中を願い、多くの人々に語りかけた言葉のような気がします。

翌年、商工会青年部に入会。町内のお祭りやイベントを手伝い、まちづくりに身近に感じます。今後も、皆さん笑顔になるイベント・まちづくりに貢献したいです。

今年からは旭川建設

業協会二世会に入会し、建設業界の視点からのまちづくりにも参加しています。

今年からは旭川建設業協会二世会に入会し、建設業界の視点からのまちづくりにも参加しています。

今できることを堅実に・・・

この業界での経験が浅いため、毎日が勉強で新しい発見も多くあります。日々の出来事や

この業界での経験が浅いため、毎日が勉強で新しい発見も多くあります。日々の出来事や

ノーボードを楽しみ、積極的に社内のコミュニケーションを作りをしています。

4月からは新卒社員も入社します。若い人が生き生きと働ける環境を整え、会社とともに成長を続けたいです。

この業界での経験が浅いため、毎日が勉強で新しい発見も多くあります。日々の出来事や会社のことを知つてもらうため、ホームページやfacebookで情報発信しています。若手社員と釣りやス

議会広報特別委員会

委員長	副委員長
米沢 義英	高松 克年
北條 隆男	竹山 正一
荒生 博一	中瀬 実

（米沢 記）